

# 四中だより

夢に向かって、人生の基礎を築き、大きな翼を育む学校  
校訓 自主・自律 協同

新座市立第四中学校学校だより 令和5年12月1日 第9号  
TEL 048-477-6053 URL <https://j-daiyon-c-niiza.edumap.jp/>



## 歌づくりを通じて

校長 鮫島 弘樹

本校が舞台となり、映画が作られたことがあります。20年近く前のことです。

部内の諍（いさか）いが元で、夏のコンクールへの出場が危ぶまれ…といった青春ストーリーで、プロの俳優さんが教師役を演じ、本校の職員室などを使った撮影が行われました。また、吹奏楽部員たちは、架空の「新座北中マーチングバンド部」の部員役として出演しました。

その映画、「真夏のE♭（イーフラット）」は文化庁による事業として、映画づくりの面白さを、子供たちに知ってもらう目的で制作された作品です。

当時、私は教員として本校に勤めていましたので、撮影の様子的一端を遠巻きに見学した記憶があります。

俳優さんたちはもちろんのこと、監督、カメラマン、照明係、衣装係やメイク係など、ほんのわずかなシーンの撮影にも数多くのスタッフが携わっていることを、私もその時実感したものです。

映画づくりのように、世の中にある仕事の大半は、数多くの人の手による分業と、それらを適切に組み合わせるリーダー役の働きによって成り立っています。

学校では、個々の資質や能力を伸ばそうとするだけでなく、多様な力を組み合わせることで大きな力が発揮できるという、将来にもつながる経験を積むための機会を、意図的に設定しています。

少し時間が経ってしまいましたが、約ひと月前の11月2日に実施した合唱祭

は、9月に行った体育祭に続く、本校の大きな学校行事です。

合唱というと「心をひとつに」のように、内面性や取り組む姿勢などが抽象的に表されがちです。しかし、実際に合唱を完成させるためには、「個々が発揮する力」と「それを束ねて、まとめ上げる力」という、2つの具体的な力が求められるものです。

それぞれのクラスでは、練習計画や進捗管理を担う「実行委員」と、ソプラノやアルトといったパートごとの力を高める「パートリーダー」、声量や音のバランスを整える「指揮者」、そして「伴奏者」など、いくつかの役割に分かれて、全体の作品を仕上げていきます。

しかし、大勢の力を合わせる作業というのは、一筋縄でいかないことも多々あります。小さな諍いや、思い通りに進まないことへのいら立ちなどの場面も、少なくなかったことと思います。

今年は、各クラスの発表だけでなく、学年全員による合唱にも取り組みました。

大きく横に広がって並び、パートごとの旋律や強弱を意識しながら力強く響かせた大勢の歌声は、聴き手の琴線に触れる感動的なハーモニーでした。

一人だけでどんなに頑張っても、この迫力を生み出すことはできません。

こうした体験を礎として、四中生たちがこの先様々な分野で協働的に大きな力を発揮し、活躍してくれることを願いながら開催した、今年度の合唱祭でした。